

# 学校法人東北外語学園 令和7年度事業報告

## 第1部 法人の概要

### 1. 当学園の設置する学校及びその他の事業（令和7年5月1日現在）

#### （設置する学校）

- (1) 日本国際学園大学東北外語ビジネス専門学校（昭和21年設立）  
学校教育法第126条に定める専門学校
- (2) 日本国際学園大学利府おおぞら幼稚園（昭和56年設立）  
学校教育法第1条に定める幼稚園
- (3) 日本国際学園大学利府第二おおぞら幼稚園（平成2年設立）  
学校教育法第1条に定める幼稚園
- (4) 日本国際学園大学せいがん幼稚園（昭和56年設立）  
学校教育法第1条に定める幼稚園
- (5) 日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校（平成29年設立）  
学校教育法第126条に定める専門学校
- (6) 日本国際学園大学坪井幼稚園（平成20年設立）  
学校教育法第1条に定める幼稚園

#### （附帯事業）

- (1) 日本国際学園大学利府おおぞら保育園（平成19年設立）  
児童福祉法第39条に定める保育所
- (2) 日本国際学園大学利府葉山保育園（平成20年設立）  
児童福祉法第39条に定める保育所、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第4条に定める保育所型認定こども園「認定こども園利府葉山保育園」
- (3) 日本国際学園大学利府第二おおぞら保育園（平成23年設立）  
児童福祉法第39条に定める保育所
- (4) 日本国際学園大学おおぞらおひさま園（平成28年設立）  
児童福祉法第6条の3に定める事業所内保育事業
- (5) 日本国際学園大学もりのキッズ園（平成29年設立）  
児童福祉法第59条の2に定める認可外保育施設（企業主導型保育事業助成施設）
- (6) 日本国際学園大学せいがん保育園（平成29年設立）  
児童福祉法第59条の2に定める認可外保育施設（企業主導型保育事業助成施設）
- (7) 日本国際学園大学利府の丘キッズ園（平成30年設立）  
児童福祉法第59条の2に定める認可外保育施設（企業主導型保育事業助成施設）
- (8) 日本国際学園大学笠神保育所（平成31年度設立）  
児童福祉法第39条に定める保育所、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第4条に定める保育所型認定こども園「笠神認定こども園」

## 2. 沿革

昭和 21 年 11 月 18 日	八軒小路国民学校（現、八軒中学校）にて東北外国語学校創立。英語科予科、英語科速成科等設置
昭和 31 年 4 月	大学受験科及び高校補習科を設置
昭和 33 年 2 月	東北タイピスト養成所を併設
昭和 39 年 10 月	東三番町 20 番地（中央 4-2-25）を購入
昭和 40 年 12 月	東三番町校舎火災により全焼
昭和 41 年 3 月	本校舎（第一校舎）完成
昭和 42 年 4 月	秘書養成科（昼間 6 ヶ月コース）を新設
昭和 43 年 2 月	財団法人「東北外国語学校」認可
昭和 43 年 11 月	第二校舎完成（鉄筋 4 階建て）
昭和 44 年 4 月	英語科本科を昼間、修学期間 1 年に変更
昭和 47 年 12 月	日吉ビルに東北タイピスト養成所を移転
昭和 51 年 6 月	専修学校法の制定により、東北外国語学校を東北外国語専門学校と改称
昭和 55 年 10 月	学校法人東方学園設置認可
昭和 56 年 4 月	利府おおぞら幼稚園開園
昭和 61 年 9 月	岩崎厨房ビル（仙台市五橋 2 丁目 1-13）を取得
昭和 63 年 3 月	ゼネラル電気より東二番町校地及び校舎を取得
平成 2 年 4 月	利府第二おおぞら幼稚園開園 東北外国語専門学校が財団法人日本語教育振興協会より日本語教育施設（定員 120 名）として認定 学生寮コーポラス米ヶ袋、コーポラス土樋新築
平成 4 年 8 月	五橋校舎（現、東北外語学園本館）新築
平成 7 年 3 月	東北外国語専門学校 2 年課程卒業生に専門士の称号が付与
平成 7 年 4 月	学校法人東北外語学園へ名称変更 東北外国語専門学校の設置者を学校法人東北外語学園に変更
平成 8 年 3 月	東北外国語専門学校が初めての語学研修をカリフォルニア大学リバーサイド校にて実施
平成 8 年 10 月 18 日	創立 50 周年記念式典
平成 11 年 2 月	第 1 回同窓会総会
平成 12 年 4 月	専門課程卒業生の大学編入が可能となり、東北外国語専門学校卒業生 2 名が大学へ編入
平成 15 年 1 月	東北外語トラベルセンター開業
平成 15 年 4 月	東北外国語専門学校英語科本科を英語科へ改称
平成 18 年 4 月	東北外国語専門学校に国際観光科を設置
平成 19 年 3 月	利府おおぞら幼稚園新園舎新築
平成 19 年 4 月	東北外語学園 2 号館新築
平成 19 年 5 月	利府おおぞら保育園開園
平成 20 年 4 月	利府葉山保育園開園
平成 22 年 4 月	東北外国語専門学校を東北外語観光専門学校に名称変更
平成 23 年 4 月	利府第二おおぞら保育園開園。利府第二おおぞら幼稚園及び利府第二おおぞら保育園が幼保連携型認定こども園しらかし台こども園として宮城県知事の認定を受ける
平成 27 年 3 月	幼保連携型認定こども園しらかし台こども園を廃止する
平成 27 年 4 月	せいがん幼稚園の設置者を学校法人高橋学園から学校法人東北外語学園に変更し設置者となる
平成 28 年 4 月	利府葉山保育園が保育所型認定こども園「認定こども園利府葉山保育園」として宮城県知事の認定を受ける

	「おおぞらおひさま園」が開園
平成 29 年 4 月	キャスウェルホテル&ブライダル専門学校開校、利府おおぞら幼稚園附属保育施設「もりの保育園」、せいがん幼稚園附属保育施設「せいがん保育園」開園
平成 30 年 4 月	もりの保育園の名称を「もりのキッズ園」に変更、利府第二おおぞら幼稚園附属保育施設「利府の丘キッズ園」開園
平成 31 年 4 月	多賀城市公立保育所の民営化に伴い、笠神保育所を開所する
令和 2 年 4 月	坪井幼稚園の設置者を学校法人清麗学園から学校法人東北外語学園に変更し設置者となる
令和 3 年 4 月	笠神保育所が保育所型認定こども園「笠神認定こども園」として宮城県知事の認定を受ける
令和 3 年 7 月	東北外語トラベルセンター閉業
令和 4 年 4 月	せいがん幼稚園が幼稚園型認定こども園「せいがん幼稚園」として宮城県知事の認定を受ける 利府第二おおぞら幼稚園分園もりのおと園が開園する
令和 5 年 4 月	令和 6 年 4 月日本国際学園大学開学に向けて、幼稚園及び保育園を名称変更する（利府おおぞら幼稚園から日本国際学園大学利府おおぞら幼稚園、利府第二おおぞら幼稚園から日本国際学園大学利府第二おおぞら幼稚園、利府第二おおぞら幼稚園もりのおと園から日本国際学園大学利府第二おおぞら幼稚園もりのおと園、せいがん幼稚園から日本国際学園大学せいがん幼稚園、坪井幼稚園から日本国際学園大学坪井幼稚園、利府おおぞら保育園から日本国際学園大学利府おおぞら保育園、利府葉山保育園から日本国際学園大学利府葉山保育園、利府第二おおぞら保育園から日本国際学園大学利府第二おおぞら保育園、笠神保育園（笠神認定こども園）から日本国際学園大学笠神保育所（日本国際学園大学笠神認定こども園）、おおぞらおひさま園から日本国際学園大学おおぞらおひさま園、もりのキッズ園から日本国際学園大学もりのキッズ園、せいがん保育園から日本国際学園大学せいがん保育園、利府の丘キッズ園から日本国際学園大学利府の丘キッズ園に名称変更） 日本国際学園大学利府第二おおぞら幼稚園が幼稚園型認定こども園「日本国際学園大学利府第二おおぞら幼稚園」として宮城県知事の認定を受ける。
令和 7 年 4 月	東北外語観光専門学校を日本国際学園大学東北外語ビジネス専門学校に名称変更 キャスウェルホテルアンドブライダル専門学校を日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校に名称変更

## 第2部 事業の概要

- 令和7年度より、東北外語観光専門学校は、「日本国際学園大学東北外語ビジネス専門学校」（以下、東北外語ビジネス専門学校）へ、キャスウェルホテルアンドブライダル専門学校は「日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校」（以下、キャスウェル外語専門学校）と名称変更を行い、新校名での初年度となった。東北外語ビジネス専門学校においては、英語科、エアライン科、ビジネスデザイン科は最終年度となった。一方、キャスウェル外語専門学校には、エアライン学科、グローバルコミュニケーション学科が新設された。
- 宮城ブロック幼稚園保育園事業では、未就園児支援体制の強化や、「採用に過度に依存しない持続可能な職場」を推進してきた。あわせて、「若者が希望を抱ける業界、職員が誇りを持って働き続けられる学園」の実現を目指し、より良い職場環境の構築に向けた給与改定を実施した。
- 千葉ブロック幼稚園事業において、坪井幼稚園は安定的な収入の確保を図るため、令和7年度より施設型給付を受ける幼稚園へ移行することとし、教育・保育活動を行った。

### 1. 日本国際学園大学東北外語ビジネス専門学校／日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル&ブライダル専門学校

東北外語ビジネス専門学校の令和7年度入学者数は、日本語科は36名、国際総合ビジネス科は40名、日本語科には10月生として51名が入学した。合計127名であった。キャスウェル外語専門学校は、ホテル学科23名、エアライン学科7名、グローバルコミュニケーション学科16名、合計46名が入学した。

東北外語ビジネス専門学校の英語科、エアライン科及びビジネスデザイン科は、令和6年度入学生が卒業し、最後の卒業生となった。令和7年度からは、英語科は、キャスウェル外語専門学校に新設されるグローバルコミュニケーション学科の「英語コース」として、また、エアライン科は同校の「エアライン学科」として引き継がれた。

進路・就職状況については、日本人学生の就職率は98%（52名/53名）、留学生については、日本語科卒業生の進学決定率は100%（48名/48名）、国際総合ビジネス科卒業生の就職内定率は78%（30名/39名）、進学率は100%（7名/7名）であった。

両校とも、授業、各種研修、行事等、すべて予定通り実施された。新しい試みとして、日本国際学園大学と連携して、初めてスポーツ大会GAIGO GAMESの合同開催をした。

大学編入者については、令和6年度は0名であったが、令和7年度は希望者4名中3名が年度内の合格ができ、1名は年度内の合格は叶わなかったが、卒業後に大学の通信課程に編入合格した。

施設面については、年次計画で1号館の改修・改装を行ってきたが、令和7年度は、1号館正面玄関に防犯カメラが設置され、安全面の改善が図られた。

### 2. 日本国際学園大学利府おおぞら幼稚園

令和7年度の新入園児数は52名となった。もりのキッズ園からの継続入園や親子学級からの入園も多く、園児数は満3歳児25名、3歳児52名、4歳児57名、5歳児60名、計194名となった。

子育て支援活動事業においては、未就園児募集の強化に重点を置き、未就園児家庭との接点づくりとして、「ママカフェ」および「ママほっとサロン」事業を中心に推進した。

また、より充実した教育・保育を実践するため、施設型給付幼稚園への移行準備を進めるとともに、職員の働く環境改善の一環として、課題であった休憩室の活用改善に取り組んだ。

さらに、グレープシード事業においては、小学生がより安全かつ快適に乗車できるよう、大型マイクロバ

スを導入した。

### 3. 日本国際学園大学利府第二おおぞら幼稚園

令和5年度より幼稚園型認定こども園へ移行して3年目が経過した。令和7年度の園児数は最終的に満3歳児3名、3歳児8名、4歳児14名、5歳児14名の合計39名であった。3歳児は利府の丘キッズ園からの継続入園の他に新規入園1名、年度途中の入園1名、他園からの転入が1名いた。その他に満3歳児1名、4歳児で途中入園があった。また子育て支援では、前年度からの継続・在園児弟妹の参加の他に、特に0歳児では合計41名の登録があった。子育て支援の内容では、制作活動や給食試食会が大変好評だった。

インスタグラムには園の普段の保育の様子と食育活動を中心に取り上げて保護者に園の様子がわかることを意識して掲載した。

令和7年度の傾向としては障害児と健常児の境目の園児が増えてきたように思えた。結果的に3名が障害児と認定されたが、園の運営に支障のない範囲での受け入れができた。今後もこの辺の見極めは慎重に行っていきたい。

### 4. 日本国際学園大学利府第二おおぞら幼稚園もりのおと園

令和5年4月に幼稚園型認定こども園に移行してから3年目が経過。英語、体操、食農を三つの柱とする教育を展開している。グレープシードでは今年度ネイティブの常勤講師を採用し、よりホンモノの英語に触れる機会を設け、好評であった。また卒園後6名が継続し、今後更に学習効果が期待される。

体操は2歳児毎日クラスからの基礎の積み上げ効果で、年長の体操発表においては技の正確性や全体の統一感が出てきた。なにより普段の指導から人の話を聞く姿勢が身に付き元気に挨拶ができるようになってきた。卒園後は12名がコスモを継続している。食農では、花や野菜、果物の混合栽培（ポタジェ）を通し、栽培から収穫、食を通し関心が深まっており、今年度は色合いや立体感といった見た目が良くなってきた。フェスタの際に保護者とポタジェの取組みについて共有できたのは良かった。アフタースクールでは独自のカリキュラムを体系化させ、異年齢交流を深めながら教育に取り組んでいる。本園では単なる預かりと差別できるように力をいれているところでもある。

令和7年度の最終的な園児数は満3歳12名、3歳児21名、4歳22名、5歳児19名合計74名（2号9名含む）であった。

子育て支援においてはママカフェ、イベント、1歳児親子学級、入園準備クラス（2歳）を設け、幅広い未就園児が参加できる活動を目指した。

### 5. 日本国際学園大学せいがん幼稚園

幼稚園型認定こども園へ移行し令和7年度で4年となった。令和7年度の最終的な園児数は2歳児、満3歳児24名、3歳児48名（うちせいがん保育園から10名、プレ幼稚園から5名）、4歳児43名、5歳児49名で164名となった。3歳児の弟妹以外の新規入園は13名だった。年度途中の新転入児も多かった。

本園ではヨコミネ式教育を導入しており、教育への関心が高い保護者が多い。年間カリキュラムに基づき、園児一人ひとりに合わせた目標設定と指導を徹底して行っている。満3歳児クラスの定員が毎年早期に埋まる背景には、教育への高い需要があると感じられる。また、保育者の資質向上を目的として、ヨコミネ式オンライン研修（体操・音楽）を定期的実施した。職員配置の都合上、例年どおりの受講が難しい場面もあったが、先輩職員から後輩への指導が丁寧に行われ、それぞれが自覚をもって保育に取り組むことができた。

満3歳児の預かり保育も定着し、共働き世帯への支援を積極的に進めている。未就園児クラスの子育て支援では、2歳児入園準備クラス・1歳児親子学級に加え、ママカフェ、園開放、0歳児イベントなど多様な取り組みを実施した。

園舎は建設から20年以上が経過し、不具合や修繕を要する箇所が増えてきたため、ウッドデッキの修繕やエアコンの入れ替えなど、必要な整備を行った。

#### 6. 日本国際学園大学坪井幼稚園

園児数は令和7年5月1日時点で、3歳児67名、4歳児74名、5歳児75名の計216名、未就園児クラスは65名だった。

子育て支援活動については、昨年に引き続き園庭開放や季節ごとのイベント等を開催するとともに、インスタグラムでの更新を定期的に行うことで園の認知向上に努めた。

施設設備面では、砂場用の日よけを導入したことで、夏場の熱中症対策にもなり、安全な遊び環境を整えることができた。また、老朽化によりエアコンの全室交換や保育室の床の張り替え等も行った。

#### 7. 日本国際学園大学利府おおぞら保育園

園児数は0歳児5名、1歳児7名、2歳児9名、3歳児14名、4歳児14名、5歳児14名の計63名、新入園児数は14名であった。子育て支援活動では、未就園児の親子が集う場「おおぞら広場」を積極的に行い、SNSやチラシの活用にも力を入れ、地域の方に園を知っていただく機会とした。「おおぞらの下で大きく育て心のねっこ」「ネイチャー×カルチャー×アドベンチャー」と園の特色を打ち出し、大自然の中での保育や英会話あそびやコスモ体操教室（正課、課外）を導入し、教育にも力を入れている。

#### 8. 日本国際学園大学おおぞらおひさま園

昨年に引き続き、日本国際学園大学利府おおぞら保育園と連携を取りながら保育を行った。園児数は、1歳児6名、2歳児5名の計11名（うち従業員枠1歳児1名、2歳児1名 計2名）、新入園児数は7名であった。

#### 9. 日本国際学園大学利府葉山保育園

園児数は、令和7年5月1日時点で0歳児0名、1歳児9名、2歳児8名、3歳児15名、4歳児8名、5歳児15名の計55名であった。

未就園児親子を対象とした事業「にこにこ広場」は繰り返し参加して下さる方が、増えた。参加者は利府町内だけではなく隣の松島町からの方もいるので、更に増やしていけるようにホームページやインスタグラム、チラシの配布などを利用した広報の仕方について考えている。

#### 10. 日本国際学園大学利府第二おおぞら保育園

園児数は0歳児1名、1歳児8名、2歳児6名、3歳児7名、4歳児12名、5歳児16名の計50名で新入園児数は5名であった。年度途中で0歳児1名が入園、1・2歳児各1名の退園があった。園児数の減少や保育者の配置状況により、令和6年度から利用定員を60名から50名に変更した。

外部講師による体操教室、英語あそびは毎年好評である。英語あそびは、講師の変更により活動内容も変わったが、利府第二おおぞら幼稚園と年齢ごとに一緒に行うことで園児の交流が増えている。

子育て支援では園開放や給食試食会、土曜日の受け入れを行ったが、なかなか集客は難しかった。

インスタグラムの更新には、引き続き力を入れ、園の魅力発信に努めた。園舎の老朽化がみられるが、こども園への移行による建て替えを見据え、大規模な修繕は控えている。

#### 11. 日本国際学園大学笠神認定こども園

令和7年度4月の園児数は、0歳児6名、1歳児12名、2歳児13名、3歳児19名（1号5名）、4歳

児 19 名（1 号 4 名）、5 歳児 19 名（1 号 1 名）の計 88 名（1 号児 10 名、2・3 号児 78 名）であった。新入園児は 14 名で、年度途中には満 3 歳児が 5 名入園し、最終的な在園児数は 93 名となった。

令和 7 年度の重点施策として「魅力的な園庭を目指して」を掲げ、シンボルツリーである松の木に寄り添う形でツリーハウスを制作した。11 月 4 日にはお披露目会として「星空コンサート」を開催し、保護者とともに完成を祝った。子どもたちにとって特別な場所となるよう、継続して活用を進めている。

子育て支援活動では、毎週 1 回・予約制（定員 10 名）の「はなちゃん広場」を実施し、新たに月 1 回、1 歳までの乳児と保護者を対象としたベビーサロン（定員 5 名）を開始した。また、月 1～2 回のマッキールーム開放 DAY や、月～土曜日の園庭開放も行った。「はなちゃん広場」では給食試食やティータイムを設け、参加者同士がゆっくり交流できる時間を提供したところ大変好評であった。リピーターが多く、毎回定員が埋まる状況で、新規参加者の受け入れには工夫を要する状況だった。

#### 12. 日本国際学園大学もりのキッズ園

園児数は、1 歳児 14 名、2 歳児 18 名の計 32 名であった。新入園児は 16 名で、幼稚園児の弟妹や職員卒のほか、利府町以外からの入園も見られた。

子育て支援事業では、0・1 歳児を対象とした「ママほっと」は、モニター期間を設けながら登録者を徐々に増やしていった。利用保護者とのコミュニケーションを重ねる中で、保護者が求める支援内容を明確にし、参加しやすい事業を選択してもらえるよう工夫した。また、5 月・8 月にはイベントを開催し、園に足を運ぶきっかけをつくるとともに、地域への認知度向上につなげた。

#### 13. 日本国際学園大学せいがん保育園

令和 7 年度より、受入れ年齢を 2 歳児クラスから 1 歳児クラスへ変更し、初年度の運用となった。保育室の面積上、1 歳児の受入れ人数は最大 12 名であるため、定員は従来どおり 20 名のままとしつつ、実際の受入れは 12 名で進めることとなった。令和 7 年度の園児数は 11 名で、その内訳は弟妹 3 名、新規 4 名、子育て支援事業「ママほっと」からの入園が 4 名であった。

子育て支援事業では、0・1 歳児の一時預かり「ママほっと」が 2 年目となり、継続利用が見られた一方で、育休中の保護者が認可保育所入所前の慣らし保育として利用するケースもあった。また、以上児の一時預かり事業は好調で、年度末には 100 名を超える予約が入る日もあり、共働き世帯の支援として定着している。必要とする家庭は年々増加傾向にある。

#### 14. 日本国際学園大学利府の丘キッズ園

園児数は、1 歳児 4 名、2 歳児 7 名の計 11 名。新入園児は 5 名の入園となった。定員の関係で 2 歳児が 7 名（うち 1 名はもりのおと園接続枠）だったので、1 歳児は 4 名にとどまった。次年度は枠に少し余裕ができるので、需要のある 1 歳児の受入を積極的に行っていききたい。

キッズ園の一時預り事業である「ママほっと」の登録者は 0 歳児 11 名、2 歳児 4 名であった。ここでのノウハウを活かして令和 8 年度に本格実施の「子ども誰でも通園制度」の実施につなげていきたい。

# 事業活動収支計算書

令和7年 4月 1日から

令和8年 3月 31日まで

学校法人東北外語学園

(単位 円)

		科目	予算額	決算額	差異	摘要
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	431,570,000	434,294,376	2,724,376	
		手数料	3,109,000	3,662,496	553,496	
		寄付金	0	0	0	
		経常費等補助金	474,509,000	530,879,766	56,370,766	
		付随事業収入	612,358,000	682,462,030	70,104,030	
		雑収入	21,723,000	29,594,760	7,871,760	
		教育活動収入計	1,543,269,000	1,680,893,428	137,624,428	
	事業活動支出の部	人件費	937,178,000	948,907,285	11,729,285	
		教育研究経費	253,646,000	257,141,997	3,495,997	
		管理経費	362,715,000	338,255,261	-24,459,739	
徴収不能額等		0	0	0		
	教育活動支出計	1,553,539,000	1,544,304,543	-9,234,457		
	教育活動収支差額	-10,270,000	136,588,885	146,858,885		
教育活動外収支	事業活動収入の部	科目	予算額	決算額	差異	摘要
		受取利息・配当金	760,000	2,210,026	1,450,026	
		教育活動外収入計	760,000	2,210,026	1,450,026	
	事業活動支出の部	借入金等利息	2,862,000	2,973,878	111,878	
		その他の教育活動外支出	0	0	0	
		教育活動外支出計	2,862,000	2,973,878	111,878	
		教育活動外収支差額	-2,102,000	-763,852	1,338,148	
	経常収支差額	-12,372,000	135,825,033	148,197,033		
特別収支	事業活動収入の部	科目	予算額	決算額	差異	摘要
		資産売却差額	0	799,999	799,999	
		その他の特別収入	0	402,765	402,765	
		特別収入計	0	1,202,764	1,202,764	
	事業活動支出の部	資産処分差額	0	50,911	50,911	
		その他の特別支出	0	45,431,716	45,431,716	
		特別支出計	0	45,482,627	45,482,627	
特別収支差額		0	-44,279,863	-44,279,863		
	[予備費]	48,660,000	/	-48,660,000		
	基本金組入前当年度収支差額	-61,032,000	91,545,170	152,577,170		
	基本金組入額合計	0	-157,506,699	-157,506,699		
	当年度収支差額	-61,032,000	-65,961,529	-4,929,529		
	前年度繰越収支差額	0	-866,919,225	-866,919,225		
	基本金取崩額	0	0	0		
	翌年度繰越収支差額	-61,032,000	-932,880,754	-871,848,754		
	(参考)					
	事業活動収入計	1,544,029,000	1,684,306,218	140,277,218		
	事業活動支出計	1,605,061,000	1,592,761,048	-12,299,952		

# 貸借対照表

令和 8年 3月 31日

学校法人 東北外語学園  
(単位 円)

科目	本年度末	前年度末	増減
<b>資産の部</b>			
<b>固定資産</b>	4,459,422,056	4,488,746,109	-29,324,053
<b>有形固定資産</b>	4,052,920,054	4,115,141,118	-62,221,064
土地	1,711,696,204	1,711,696,204	0
建物	2,038,532,838	2,137,172,165	-98,639,327
教育研究用機器備品	18,031,901	23,138,672	-5,106,771
その他の有形固定資産	284,659,111	243,134,077	41,525,034
<b>特定資産</b>	336,837,286	291,816,988	45,020,298
有価証券	63,408,694	63,408,694	0
その他の固定資産	6,256,022	18,379,309	-12,123,287
<b>流動資産</b>	1,245,337,606	1,103,090,773	142,246,833
現金預金	1,134,357,039	1,041,114,146	93,242,893
その他の流動資産	110,980,567	61,976,627	49,003,940
<b>資産の部合計</b>	5,704,759,662	5,591,836,882	112,922,780
<b>負債の部</b>			
<b>固定負債</b>	401,220,610	452,502,746	-51,282,136
長期借入金	361,804,000	416,636,000	-54,832,000
退職給与引当金	39,416,610	35,866,746	3,549,864
<b>流動負債</b>	497,939,457	425,279,711	72,659,746
短期借入金	54,832,000	83,332,000	-28,500,000
賞与引当金	71,538,078	0	71,538,078
未払金	54,314,394	45,269,667	9,044,727
前受金	226,702,848	216,730,171	9,972,677
その他の流動負債	90,552,137	79,947,873	10,604,264
<b>負債の部合計</b>	899,160,067	877,782,457	21,377,610
<b>純資産の部</b>			
<b>基本金</b>	5,737,935,649	5,580,428,950	157,506,699
第1号基本金	5,737,935,649	5,580,428,950	157,506,699
<b>繰越収支差額</b>	-932,336,054	-866,374,525	-65,961,529
元入金	3,837,601	3,837,601	0
翌年度繰越収支差額	-936,173,655	-870,212,126	-65,961,529
<b>純資産の部合計</b>	4,805,599,595	4,714,054,425	91,545,170
<b>負債及び純資産の部合計</b>	5,704,759,662	5,591,836,882	112,922,780

# 財産目録

令和8年3月31日

学校法人東北外語学園  
(単位:円)

科目	残高
一 資産額	
(一) 基本財産	4,052,920,054
1 土地	1,711,696,204
2 建物	2,038,532,838
3 教育研究用機器備品	18,031,901
4 その他	284,659,111
(二) 運用財産	1,648,002,007
1 現金預金	1,134,357,039
2 その他	513,644,968
(三) 収益事業用財産	3,292,901
合計	5,704,214,962
二 負債額	
(一) 固定負債	401,220,610
1 退職給与引当金	39,416,610
2 その他の固定負債	361,804,000
(二) 流動負債	497,939,457
1 前受金	226,702,848
2 その他の流動負債	271,236,609
合計	899,160,067

(注) ・基本財産:学校法人の設置する私立学校の経営に必要な施設及び設備又はこれらに要する資金

・運用財産:学校法人の設置する私立学校の経営に必要な財産


・収益事業用財産:収益を目的とする事業に必要な財産

## 監査報告書

令和8年6月3日

学校法人東北外語学園  
理事会 御中  
評議員会 御中

学校法人東北外語学園

監事 山本宣生 

監事 岸明彦 

私たちは、学校法人東北外語学園の監事として、私立学校法の規定に基づき、同学園の令和7年度（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）における財産目録、計算関係書類及び内訳表を含め、学校法人の業務及び財産の状況について監査を行いました。

監査の結果、私たちは、学校法人の業務又は財産に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めます。

以上